

3月14日(土) 医学科講義室 プログラム

12:30～ 開場・受付

13:00～ 13:05 開会挨拶 菅田勝也 (日本看護評価学会 理事長)

13:10～ 14:00 インフォメーション・エクステンション

I-1 看護職の **Healthy Work Environment** とは?-フォロワーシップとリーダーシップより-

○緒方泰子 (東京医科歯科大学)

勝山貴美子 (横浜市立大学)

永野みどり 田中幸子 (東京慈恵会医科大学)

菅田勝也 (藍野大学)

14:05～ 15:00 一般演題 (口演) 第1群 看護の質・看護実践 (4題)

座長: 兒玉慎平 (鹿児島大学医学部保健学科)

1-1 精神科看護師の感情指数に関する研究-年齢と臨床経験年数による特性-

○石井慎一郎 (自治医科大学看護学部, 佐賀大学大学院医学系研究科)

板橋 直人 (日本保健医療大学保健医療学部)

1-2 精神科看護師の感情指数と省察、臨床判断との関係

○石井慎一郎 (自治医科大学看護学部, 佐賀大学大学院医学系研究科)

板橋 直人 (日本保健医療大学保健医療学部)

1-3 高齢者看護のケアの質に関する **Geriatric Institutional Assessment Profile** を用いた研究の動向

○松井美帆 (防衛医科大学校)

1-4 パートナリシップ・ナーシング・システム導入に伴う看護師の仕事量および看護師の仕事に対する意識の変化

○長沼元美 神宮寺美千代 磯部沙織 (山梨県立中央病院)

上條優子 (山梨県立大学)

15:10～ 16:00 講演 I 「「症例トレース法」の原理」

講師: 橋本廸生 (日本医療機能評価機構 執行理事)

16:10～ 17:00 講演 II 「看護の質評価におけるケアプロセス評価の理論的位置付けと活用」

講師: 武村雪絵 (東京大学医科学研究所附属病院 副院長兼看護部長)

17:05～ 総会・評議員会

3月15日(日) 鈴木章夫記念講堂

9:00～ 9:55 一般演題(口演) 第2群 能力開発・看護実践の支援(4題)

座長: 永田文子(国立看護大学校)

- 2-1 看護における研究成果活用について-測定尺度に関する文献的検討-  
○溝部昌子 赤沼智子 野地有子(千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター)
- 2-2 「臨床看護師の臨床看護研究に対する自己効力感尺度」の有効性の検証  
○松岡智恵子(産業医科大学産業保健学部看護学科)
- 2-3 看護師の接遇向上に対する意識に関連する要因の検討  
○兒玉慎平(鹿児島大学医学部保健学科)  
白石けい子 江口小百合 新村初美 板井陽子 上村恵 西帯野智代  
中山栄子(鹿児島大学病院)
- 2-4 看護スタッフが必要としている支援と看護管理者が提供している支援の比較  
○山崎彩香(東京医科歯科大学保健衛生学科)  
藤波景子 緒方泰子 霜越多麻美 森陽子  
(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

10:00～ 11:00 講演Ⅲ「診療報酬改定による評価を先取りする取り組み  
～変化への察知力と, "うなずける看護"の創造～」  
講師: 樋口晴美(手稲溪仁会病院 副院長兼看護部長)

11:10～ 12:00 講演Ⅳ「診療報酬改定による評価を先取りする取り組み  
～外来・地域連携で示す看護の成果～」  
講師: 角田直枝(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 看護局長)

13:30～ 14:30 講演Ⅴ「Assessing Domains, Competencies, and Milestones」(通訳付き)  
講師: Mary Jo Clark (Professor, University of San Diego)

14:40～ 16:40 シンポジウム「病院および看護の国際化について  
～米国 CLAS ガイドラインから学ぶ～」  
司会: 野地有子(千葉大学 教授)  
「病院と看護の国際化にむけた文化対応能力の評価 ―国内病院調査の  
中間報告」  
野地有子(千葉大学 教授)  
「"Globalization for Hospital and Nursing Administration:  
Lessons learned from CLAS"」  
Julia Puebla Fortier (Executive Director, Resources for Cross

3月15日（日）鈴木章夫記念講堂

Cultural Health Care)

「地域医療と観光地の狭間で」

林久美子（JA 北海道厚生連倶知安厚生病院 看護部長）

16:45～

表彰・閉会